

随想リレー



▼片山知事（中央）と「ふるさと」を合唱する出席者の面々



題字／西尾邑次 次会員揮毫

第23号
2005年12月25日発行
東京鳥取県人会事務局
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10F
電話 03(5212)9178
FAX 03(5212)9079
発行責任者／中野純
編集／幹事会編集委員
<http://www.pref.tottori.jp/tokyooffice>

平成17年度「総会と懇親の夕べ」 盛会裡のうちに終える

去る10月25日に平成17年の
「総会と懇親の夕べ」が白金
台の八芳園で、会員240人
の皆さんにお集まりいただき
開催されました。

当日は、片山知事をはじめ
県選出国會議員、県内の市町
村長及び議長や各種団体の代
表の方々、そして、鬼塚喜八
郎、神戸鳥取県人会会長、高野
泰明、大阪鳥取県人会会長、長
谷川桂子、北海道鳥取県人会会
長など多くの御来賓にも参加
していただき、顔ぶれも多彩
でした。

新会長に中野純氏が就任
今年は役員の改選期であり、
片山知事のお招きがきっかけ
で、大山会（東京在住で鳥
取県出身の会社員らの親睦
会）の春の例会を「ふるさと」
開くことになりました。

11名の会員が、4月14日か
15日夕は、三朝温泉で浴衣
がけでの例会となつた。各地
の風物に初めて接し、今まで
らう失意のうちに因幡の国司

新年之始乃波都波流能家布
敷流由伎能伊夜之家餘其勝
トにも足を運びました。
（新しき年の始めの初春の今
日降る雪のいや重け吉事）
これは、前年の6月、おそ
いしまして。

新会長に中野純氏が就任
して懇親の夕べは進んで行きました。
また、アトラクションでは、
明倫館の皆さんによる「しゃ
んしゃん傘踊り」、そして、
明倫館・清和寮の皆さんによ
る唱歌「もみじ」、「おぼろ月
夜」の合唱では、毎晩遅くま
で練習を重ねた成果を十分発
揮し、会場は大変盛りあがり
ました。

最後は、「ふるさと」を学
生の皆さんと参加者全員で齊
唱し、盛会の内にお開きとな
りました。

会員の皆様には、名刺広告、
景品提供等大変お世話になり
ました。来年もよろしくお願
ひします。（事務局）

いや重（し）け吉事（よご）と

東京鳥取県人会副会長

上村 正明

影山博之氏が
秋の叙勲
瑞宝小綬章に輝く平成17年秋、本会会員の
影山博之氏が瑞宝小綬章を
受章されました。氏は元公
立高等学校校長を務めるなど
教育の振興に尽力されま
した。「38年間、農業教育に携わっ
てきましたお陰で陛下のお言葉
まで頂戴し感激しています。」私はこの旅で大伴家持の
の巻末に收められています。

皆様に深く感謝申し上げる

次第です。（㈱アトラ社長）

ら3日間、県内各地を訪れ、知らなかつたふるさとを「発見」した喜びや驚きを口ぐちに伝え合い、会は大いに盛り上がつた。

また、石谷家を振り出しに、私はこの旅で大伴家持の次の歌を知りました。

「初春の今日、（豊年のしる

次第です。（㈱アトラ社長）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）

）



▲西村和義副会長(左)と岩田拓郎さん(右)



▲上村正明副会長(左)と坂本昭文南部町長(右)



▲片山善博知事



▲斎木勉名誉会長(左)と中野純会長(右)



▲四反田千鶴さん(左)と藤井田多恵子さん(右)



▲古賀信三常任幹事



▲鳥飼公雄副会長



▲竹内功鳥取市長

17年度「総会と懇親の夕べ」スナップ集

年一度の県人会の集まり、皆さんのお元気な姿をカメラに収めました。



▲しゃんしゃん踊りの舞台



▲学生寮の皆さんのが合唱



▲表千家教授桑田宗百さん(右)とそのお嬢様の原田裕子さん(左)



▲上場重信県企画部長(右)と大西康隆鳥取市経済観光部長(左)



▲総会司会の吉井美和子さん

寄稿 1

に着く。あり

が見えた老いの年齢、

なるべく足腰が丈夫なうち

にはと一年に一回は懐かし

いが生まれ故郷に帰るこ

とにしているが、今回も6

月に不幸があり、急いで飛

行機で帰省した。

しかし、昔と違つて東京

から1時間

だけが、空港バスで鳥取駅まで

が、空港バスで鳥取駅まで

さて、ここからが問題だ

がたいことだ。

しかし、自然は変らない。

く胸に迫る。

鳥
取
駅
前
(鳥
取
市
青
谷
町
出
身
84
歳)
晋



▲鳥取駅前

（鳥取市青谷町出身
84歳）晋

うとも、私もこつそり衝立の端

が来られたというので、近く

から女優さんをカメラに撮

る男子と女子の学生寮の名前

が春の入寮式、秋の寮祭等に

は田子名誉監督をお招きして

いた。

わったのか、私が大都会に

わったのか、私が大都會に

県内情報

変わりゆく故郷



数年の年月を経て訪ねる故郷は以前と変わらない心地よい温もりで帰郷する人々を包み込んでくれます。ところが、昔のままでない故郷の姿も少なからずそこにはあります。

風力発電と幹線整備

県内のあら

らこちらでは風力発電機の羽根がまわつ

ています。本

年10月に県内

では一連の合

併の締めく

りとなつた田

大栄町と旧北

条町による北

栄町には、国

道9号沿いに

9機が並んで

います。日本

海を望むよう

に白い首を伸

ばして箇間隔

に建ち並び姿

を窓から見

えられます。

うなりに民芸の全体像を描き

て考えたものです。民芸とい

う概念の創始者だった柳宗悦

(1889~1961)と式場隆三郎

(1898~1972)と式場隆三郎

生涯の歩みを紹介しながら、著

者なりに民芸の全体像を描き

て考えたものです。民芸とい

う概念の創始者だった柳宗悦

(1889~1961)と式場隆三郎

生涯の歩みを紹介しながら、著

者なりに民芸の全体像を描き

て考えたものです。民芸とい

う概念の創始者だった柳宗悦

(1889~1961)と式場隆三郎

生涯の歩みを紹介しながら、著

者なりに民芸の全体像を描き

て考えたものです。民芸とい

う概念の創始者だった柳宗悦

(1889~1961)と式場隆三郎

生涯の歩みを紹介ながら、著

者なりに民芸の全体像を描き

て考えたものです。民芸とい